

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 21日

大阪府泉州農と緑の総合事務所長 殿

提出者

住 所 大阪市中央区淡路町1丁目2番6号

氏 名 阪本薬品工業株式会社
代表取締役社長 阪本 真宏

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6231-1851

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	阪本薬品工業株式会社 泉北工場
事業場の所在地	大阪府泉大津市臨海町1丁目20番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16：化学工業
②事業の規模	出荷金額：76億円
③従業員数	泉北工場67人/会社全体322人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	排 出 量	740.58 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)	①装置を安定稼働させること、また無機成分の少ない原料を使用することにより、排出量の低減を図る。	②活性汚泥施設より排出するスラリー量である。脱水機により減量して搬出、処理施設で全量が堆肥化される。
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	排 出 量	740.58 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)	上記①の取組を継続。	脱水機の保全を含めた排水処理設備の安定稼働を行い、発生量の削減に努める。
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 基本的に発生した所で保管管理しているので、全て分別されているが、廃プラとガラスくずは混合物として委託処分している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取組を継続。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
162.79 t	17.45 t	0.00 t	0.00 t
③製造工程にて使用する活性炭の廃棄物であり、年々品質を確認しながら添加量を削減してきた。	④タンクに堆積した汚泥。清掃に伴い回収。	⑤油溶性製品又は仕掛品が不要となり処分した。量の削減に努めている。	⑥製品の処分に伴い、発生。量の削減に努めている。

②計画

③有機性汚泥	④油泥	⑤無機性汚泥	⑥廃油
162.79 t	17.45 t	0.00 t	2.23 t
上記③の取組を継続。	④適正処理に努める。	上記⑤の取組を継続。 ⑤	上記⑥の取組を継続。 ⑦

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
1.56 t	1.17 t	11,768.00 t	5.43 t
⑦設備洗浄の際に発生。使用量の適正化に努めている。			

②計画

⑦木くず	⑧有機性汚泥	⑨ガラスくず等	⑩廃酸
1.17 t	11,768.00 t	5.43 t	0.00 t
上記④の取組を継続。			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

⑪ばいじん	⑫廃アルカリ	⑬廃酸	
0.00 t	0.00 t	0.00 t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
（これまでに実施した取組） ・ 廃アルカリを自社焼却炉にて、通年燃焼処理。 ・余剰汚泥スラリーを脱水機にて脱水。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
（今後実施する予定の取組） 上記取組を継続。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

③有機性汚泥	④油泥	⑤無機性汚泥	⑥廃油
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
t	t	0 t	t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

③有機性汚泥	④油泥	⑤無機性汚泥	⑥廃油
t	t	t	t
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

⑦木くず	⑧有機性汚泥	⑨ガラスくず等	⑩廃酸
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
t	t	t	t
0 t	0 t	11528.82 t	0 t

②計画

⑦木くず	⑧有機性汚泥	⑨ガラスくず等	⑩廃酸
t	t	t	t
0 t	11529 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

⑪ばいじん	⑫廃アルカリ	⑬廃酸	
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

⑪ばいじん	⑫廃アルカリ	⑬廃酸	
t	t	t	t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

t	t	t	t
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	全処理委託量	740.579 t	0 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

③有機性汚泥	④油泥	⑤無機性汚泥	⑥廃油
0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
162.79 t	17.45 t	0 t	0 t
162.79 t	17.45 t	0 t	0 t
162.79 t	t	t	0 t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

⑦木くず	⑧有機性汚泥	⑨ガラスくず等	⑩廃酸
0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
1.56 t	1.17 t	239.18 t	5.43 t
1.56 t	1.17 t	0 t	5.43 t
t	t	239.18 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

⑪ばいじん	⑫廃アルカリ	⑬廃酸	
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

⑪ばいじん	⑫廃アルカリ	⑬廃酸	
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	全 処 理 委 託 量	740.579 t	0 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記取組を継続。		
※事務処理欄			

②計画

③有機性汚泥	④油泥	⑤無機性汚泥	⑥廃油
162.79 t	17.45 t	0 t	2.23 t
162.79 t	17.45 t	0 t	2.23 t
162.79 t	t	0 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

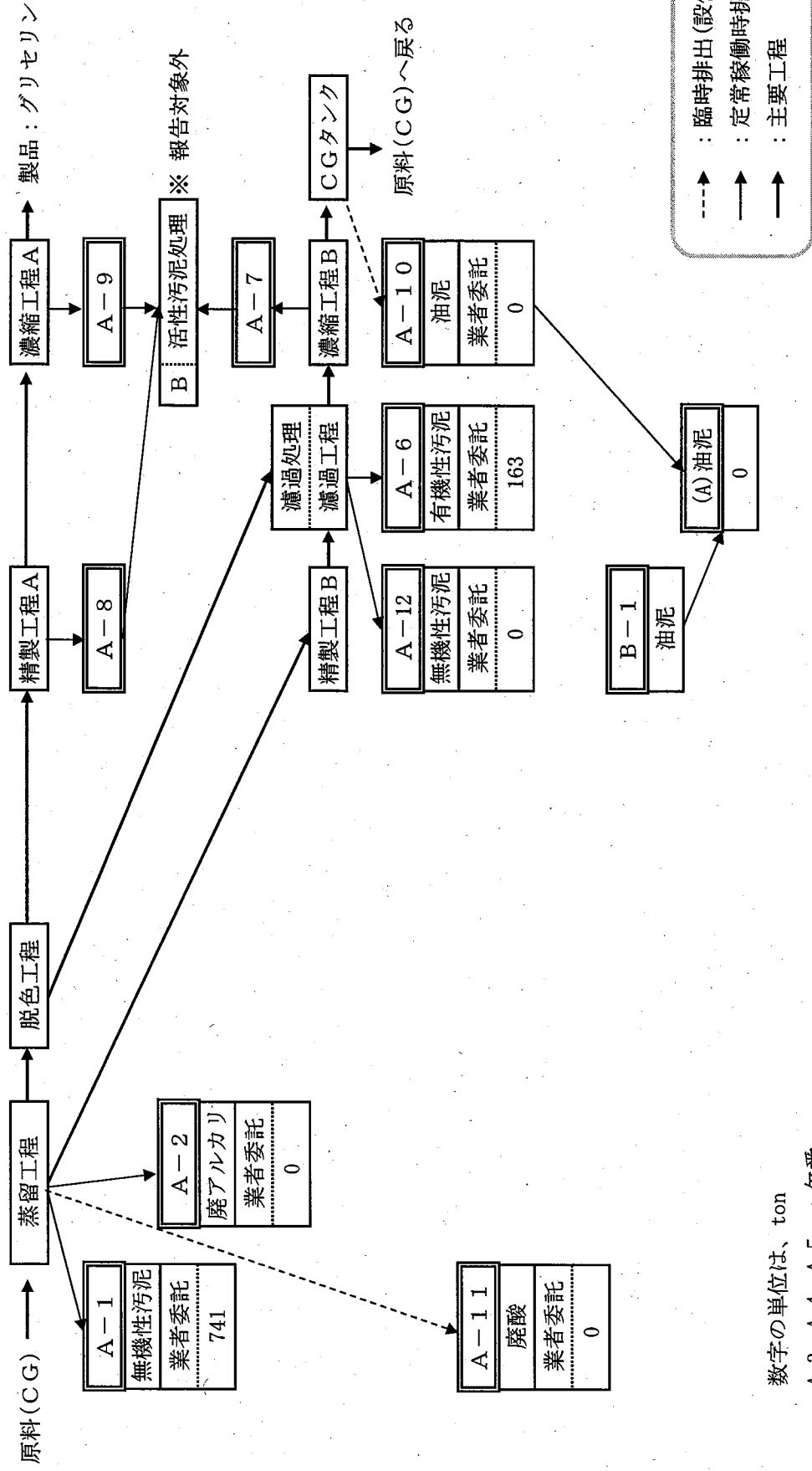
②計画

⑦木くず	⑧有機性汚泥	⑨ガラスくず等	⑩廃酸
1.17 t	239 t	5.43 t	0 t
1.17 t	t	5.43 t	0 t
t	239 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

0 t	0 t	0 t	0 t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

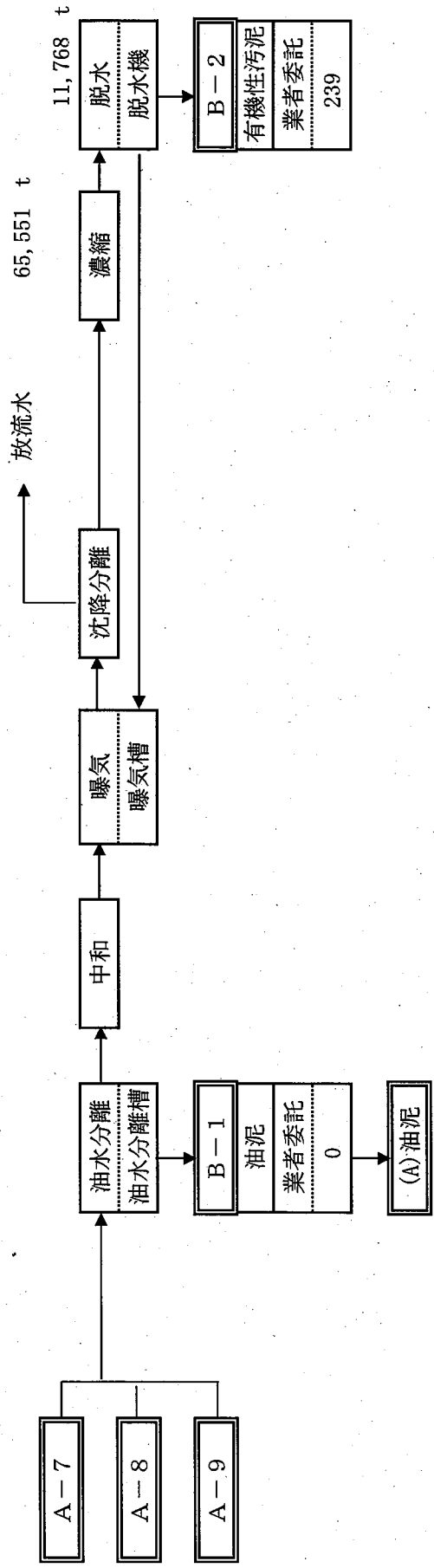
A グリセリン製造工程



産廃発生・処理工程フローシート(第1面④産業廃棄物の一連の処理の工程)

第1面別紙

B. 排水処理工程



第2面別紙：廃棄物管理体制図

